

公益社団法人 **日本作曲家協会会報**

No. 174

<http://www.jacompa.or.jp>

JAPAN COMPOSER'S ASSOCIATION

オリジナルソング・コンテスト**グランプリ決定!**

今年度の「オリジナルソング・コンテスト」はキングレコード株式会社のご協力をいただき、大月みやこさんを対象歌手に「ひとり越前～明日への旅～」(作詩・喜多條 忠)を課題詩として募集が行われ、195作品の応募があった。

今回も、日本レコード大賞の審査委員でもある、赤間剛勝、酒井政利、高柳六郎の3氏による審査で15作品を選び、最終選考はキングレコード制作スタッフにより行われ、晃正げんぺい氏の作品がグランプリに決定した。そしてこの作品は10月7日(月)「日本作曲家協会音楽祭・2013」東京都北区「北とぴあ・さくらホール」において披露及び表彰が行われる。

◆**グランプリ**作曲：晃正げんぺい
あきまさ

「ひとり越前～明日への旅～」

作詩・喜多條 忠／歌唱・大月みやこ

◆**優秀作品賞** 藤 竜之介／松田恭雄◆**佳作** 岩上峰山／南郷 孝／ペペル 伴

「日本作曲家協会音楽祭・2013」出演歌手決定

◆メインゲスト (ソングコンテスト・グランプリ曲歌唱歌手)

大月みやこ (キングレコード株式会社)

◆日本作曲家協会音楽祭・奨励賞◆



出光仁美 (日本コロムビア株式会社)
「六甲の女」
作曲・水森英夫／作詩・麻 こよみ



桜井くみ子 (日本クラウン株式会社)
「海峡かもめ」
作曲・岡 千秋／作詩・三浦康熙



竹島 宏
(株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ)
「北旅愁」
作曲・弦 哲也
作詩・久仁京介



福田こうへい (キングレコード株式会社)
「南部蝉しぐれ」
作曲・四方章人／作詩・久仁京介



みやさと 奏 (株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ)
「かもめ町一丁目」
作曲・叶 弦大／作詩・岡田富美子

◆ロングヒット賞◆

小金沢昇司 (キングレコード株式会社)



「ありがとう…感謝」
作曲・大谷明裕 / 作詩・志摩ゆり子

◆ベストカラオケ賞◆

香西かおり (ユニバーサルミュージック合同会社)



「酒の宿」
作曲・森山慎也 / 作詩・池田充男

◆有線大衆賞◆

市川由紀乃 (キングレコード株式会社)



「栈橋時雨」
作曲・岡 千秋 / 作詩・木下龍太郎

この曲・この歌手 ~作曲家とともに~



北山たけし (ティチクエンタテインメント株式会社)
「路地あかり」
作曲・弦 哲也 / 作詩・田久保真見



竹川美子 (日本クラウン株式会社)
「おんなの夜明け~第一章~」
作曲・叶 弦大 / 作詩・水木れいじ



西方裕之 (キングレコード株式会社)
「遠花火」
作曲・徳久広司 / 作詩・竜 はじめ

オリジナルソング・コンテスト

グランプリの受賞に寄せて

晃正げんぺい



とにかく受賞のお電話をいただいた時は信じられなくてビックリしました。作曲家協会に入会して二十数年、初めての受賞です。

思えば学生の頃から吉田正先生に憧れて作曲家になりたいと夢見て四十数年、

いつまでも夢を捨てずに続けて来て本当に良かったと思います。そして、これからも歌謡界に残るような歌を作っていきたいと思います。今まで応援してくれた皆様に感謝いたします。ありがとうございます！！

選考にあたって

バランスのとれた作品

キングレコード株式会社 大澄雅人

この度は、作曲家協会ソングコンテストに多数のご応募をいただきましてありがとうございます。歌唱いたします、大月みやこの担当ディレクターとして、選考に当たらせていただきました。皆さんそれぞれ創意を凝らした作品ばかりで、選考には苦労しながらも楽しませていただきました。

歌唱は大月みやこ、詩は喜多條忠先生による越前を舞台にした切ない女の旅。メロディーがいかに大月みやこならではの歌唱の魅力を引き出し、そのドラマを膨らませていけるのか、そんな観点から選ばせていただきました。一作品一作品、力作ばかりではありましたが、独創性にこだわるあまり、メロディーラインのつながりや構成が不自然に感じられる作品も見受けられました。グランプリ作品は、そのバランスのとれた作品でした。

今回、皆さんからの作品応募により、制作担当者としての新たなアイデアも感じさせていただきました

こと、本当に感謝しております。今後も皆さんの創作活動に期待しております。

まとまった作品目立つ

音楽プロデューサー 赤間剛勝

課題詩があり、歌手が大月みやこさんということで、比較的オーソドックスな作品が多く、挑戦するというよりは、まとまった歌作りが目立ったように思います。私としましては、更にもっと局面を切り開いていくような意欲作に多く出合えることを期待していたのですが…。

ヒロインの顔を浮かべ

音楽プロデューサー 酒井政利

まるで、はじめてプロデューサーに起用された頃のように、それぞれの曲に聞き入る作曲審査。もう半世紀以上も前になるが、作家から持ち込まれた作品を緊張しながら試聴し、イメージを回した頃と重なったのだ。

音は見えないだけに、一枚の絵を描くつもりで聞く癖がついている。それは楽しい作業だが、同じ詩で曲がつぎつぎ変わっていくというのは、時間が経つにつれ軽い拷問になってくる。素描の上にどどん色を上塗りしているようで、気分が重苦しくなる。これではダメだとこの歌のヒロインの表情を浮かべたりして、客観的にやっと選ぶことが出来た。

ヒロイン大月さんが、あの声で切ない旅をしてくれたらと願っている。

付曲の傾向が変化しつつ

音楽プロデューサー 高柳六郎

本年度の応募作品には変化が……従来のオーソドックスな作品ではなく、付曲の傾向が少し変化しつつあるように見えた。

いわゆる、詩のテーマ及び行数等で付曲に苦労があったようにも見える部分もありましたが、全体優秀な作品が多かったと思います。

今後とも大衆歌、流行歌としてより多くの皆様に歌唱してもらえよう、なお一層の創作意欲の旺盛さを望みたいものです。

(50音順・敬称略)